

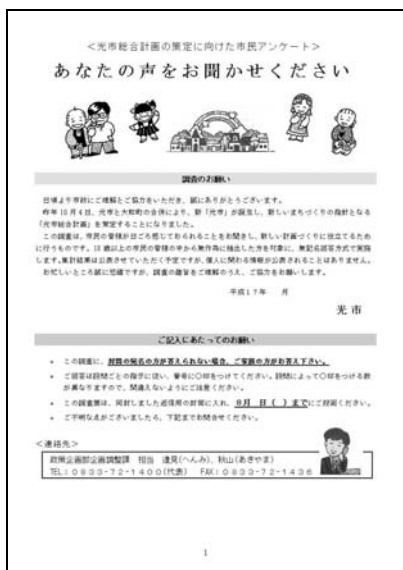
新『光市総合計画』策定に伴うアンケートの実施について

総合計画の策定の基礎的な資料とするため、『市民アンケート』を実施し、行政の施策に対する満足度・重要度や、共創・協働のまちづくりに向けた市民意識などを把握します。

併せて、光市出身者を対象に、『光市出身者アンケート』を実施し、今後の居住意向や、光市のイメージ、ふるさと光市への想いや市民の皆様へのメッセージなど、外から見た光市の姿についての補足的調査を実施します。

1 実施アンケートの概要

● 市民アンケート



〈対象者〉

18歳以上の市民 6000名

〈調査方法〉

郵送による配布・回収

〈実施時期〉

発送日 8月11日(木)

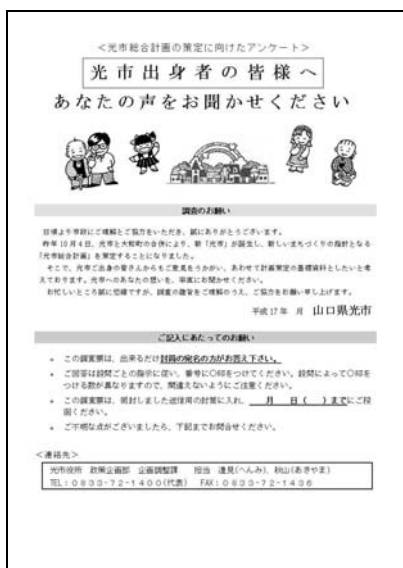
提出期限 8月23日(火)

〈主な内容〉

調査票を2種類に分け、3000名ずつ調査を実施する。

- ・ 共創・協働のまちづくりについて
- ・ 市政への市民参加について
- ・ 個別の課題・計画について
- ・ 市政に対する評価と今後への期待（施策に対する満足度・重要度）
- ・ 今後の居住意向について
- ・ 情報提供について
- ・ 日常生活におけるあなたの意識
- ・ 光市のまちづくりについての100字提言

● 光市出身者アンケート



〈対象者〉

光市出身者 258名

〈調査方法〉

郵送による配布・回収

〈実施時期〉

発送日 8月11日(木)

提出期限 8月30日(火)

〈主な内容〉

- ・ 今後の居住意向について
- ・ 情報提供について
- ・ 光市のイメージについて
- ・ 光市への意見や、提案（アイデア）、期待について
- ・ 光市民の皆さんへのメッセージ

※ アンケートは無記名式で、個人情報特定されることはありません。

2 市民アンケートの調査項目設定の考え方について

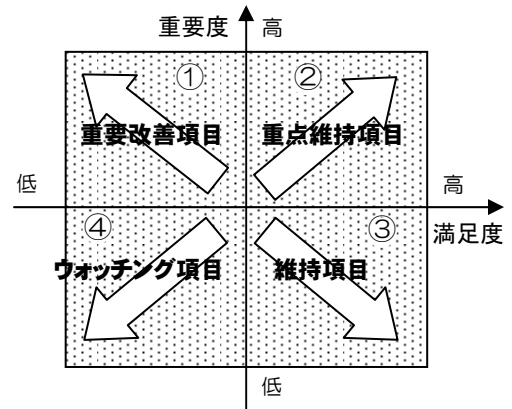
ポイント1 満足度、重要度を把握し、クロス分析により、施策の重点化の基礎資料とします。

《調査票1 設問 22-24、調査票2 設問 11》

<考え方>

・極めて厳しい財政状況の中、「選択と集中」の視点に立ち、限られた資源を効果的・効率的に活用していくための基礎資料として活用します。

・満足度と重要度の2方向から評価するとともに、施策のターゲット層（地区別・年齢別・世帯構成別）も加味して分析を行います。



ポイント2 共創・協働のまちづくりの実現に向け、まちづくりの主体としての市民の意識を把握します。

《調査票1 設問 11-17》

<考え方>

・市民と行政を、共にまちづくりに取り組む主体として位置づけ、共創・協働に関する意識を把握します。

行政の取り組みに対する市民参画意識を把握します。

市民の地域活動や市民活動に対する考え方や、参加状況や意欲、課題等を把握します。

ポイント3 ベンチマーク指標を導入し、計画に反映できる数値指標設定の基礎資料とします。

《調査票2 設問 25》

<考え方>

・市民の暮らしや行政に対する評価を数値化することにより、目標と成果の指標として活用します。（整備水準、規模、活動量など提供されたモノやサービスを評価するだけでなく、整備や活動の結果として市民生活にもたらされた変化や影響なども評価の対象とするベンチマーク指標の導入も検討します。）